

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2026年6月19日

事業所名：児童発達支援 HIYOKO SPORTS長町南教室

対象人数(保護者)4人 回答者数3人 回収75%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1		1		事業所としても、運動活動を行う際には十分なスペースの確保が課題であると感じております。 限られた空間の中でも安全に活動できるよう活動内容や人数配置を工夫しておりますが、今後もお子様が安心して伸び伸びと活動できる環境づくりに努めてまいります。	
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1	1			職員配置についてご心配をおかけし申し訳ございません。現状の体制の中で安全に配慮しながら支援を行っておりますが、慌ただしさを感じさせてしまう場面があったと認識しております。今後は業務の見直しや役割分担の整理を行い、より落ち着いた環境で支援が提供できるよう努めてまいります。 また、人員配置につきましては、4月より職員数が増え改善されてきております。今後も必要に応じて本部と連携しながら検討してまいります。	
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3						
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1				お子様一人ひとりの特性や発達段階をより丁寧に把握し、職員間での情報共有や研修等を通して専門性の向上に努めながら、安心してご利用いただける支援を行ってまいります。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2			1		事業所で公表しているプログラム内容について、十分に分かりやすくお伝えできていなかったと受け止めております。今後は活動内容や支援の目的について、お便りや日々の情報共有等を通してより具体的に伝えるし、実際の支援内容とのつながりが分かりやすくなるよう努めてまいります。
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	3					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1				運動活動は週ごとに内容を変えておりますが、定期的に新しい内容を取り入れながら、お子様たちがより楽しく活動に参加できるように努めてまいります。レクリエーションにつきましては、職員の人数が充足してまいりましたので、土曜日・祝日・長期休みの際に計画し、ご案内できるようにしてまいります。
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1	1		地域の行事に参加する機会を設けることはできておりませんでした。土曜日や休日に近隣の公園に外出した際に、公園に遊びに来ている地域のお子様たちと一緒に遊具遊びを楽しんだり、遊具の順番を待つ・譲り合うなどの体験ができております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1				各マニュアルにつきまして、十分な周知・説明ができておりませんでした。今後は、各種マニュアルの内容や対応体制について、契約時やお便り等を通して分かりやすくお伝えし、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				3		昨年度は、避難訓練を毎月実施することができませんでした。今後は毎月計画的に実施できるように努めてまいります。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	3					
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	3					
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	3					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3					
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	2	1				事業所の支援について、十分な満足に繋がっていない部分があったと受け止めております。今後はお子様や保護者様のお気持ちやご要望を丁寧に向いながら、より安心してご利用いただける支援内容や環境づくりに努めてまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。